



令和3年6月16日

女性・女子児童生徒寄り添い支援事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して、生活困窮に陥ったり様々な困難や不安を抱えた女性に寄り添った支援が必要にもかかわらず、女性特有の生理用品の購入ができないなどの状況がクローズアップされており、支援が届いていない女性を相談窓口へ繋ぎ、必要な生活困窮支援につなげる必要がある。

また、小中学校においては、生理用品を保健室に備え置き、必要な場合は入手できるようにしているが、保健室に行き申し出ることをためらう児童生徒がいることも想定できることから、コロナ禍や生活困窮、また家庭の事情で購入が困難になっている状況などでも安心して登校できるよう、さらに入手しやすい女子トイレの個室に生理用ナプキンを備え置くこととしたい。

1 事業概要

- ① 生活困窮など様々な困難や不安を抱えた女性への生理用品の無償配布を通して、必要に応じ生活困窮の相談につなげ体制の充実を図る。
 - (1) 配布時に、相談窓口案内カードを同封し、相談窓口へ繋ぐ。
 - (2) 生活相談や健康相談等の利用者で、支援を必要とする女性に生理用品（無償）及び相談窓口案内カードを配布する。
- ② 小中学校の女子トイレの各個室に専用の容器を設置し、その中に生理用品を常備配置する。

2 対象

- ① 支援を必要とする女性（高校生・大学生を含む） 1,500人分
- ② 市内小中学校 女子児童生徒 約3,000人

3 ①の配布予定場所（市内18ヶ所）

福祉生活相談センター、市民交流課、保育課、子育て応援課、健康課、各総合支所、伊勢市社会福祉協議会（本所及び支所、生活サポートセンターあゆみ、げんこころ一む）、いせトピア、伊勢図書館、小俣図書館、いせ出会い支援センター